



書評部門 優秀作

三島遼さん 理学部 2回生

『カーテン』 アガサ・クリスティー著 早川書房

親愛なる友よ！

毛 利探偵事務所の下にある「喫茶ポアロ」。名前の由来となったのは、イギリスでシャーロック・ホームズと並び称される名探偵エルキュール・ポアロだ。今回おすすめする「カーテン」は、ポアロ最期の事件となる物語である。

著者は「オリエント急行の殺人」「そして誰もいなくなった」などを手掛けたミステリーの天才アガサ・クリスティー。アガサの作品が愛されるのは、ミステリーの奥深さ、表現の分かりやすさ、そして少しのユーモアがあるからだ。素人にも読みやすく、それでいて玄人をうならせる。

中でも「カーテン」は傑作である。あなたは最後の最後まで“殺人が起きたことすら”気づかないだろう。事件は影をひそめ、ポアロは何も教えてくれない。これでミステリーなのか…。困惑したあなたを待っているのはラスト40ページの劇的な謎解き。ようやくあなたは最初から騙されていたことに気づく。誰にとって？もちろん犯人と、それからポアロに。

読み返さずにはいられない。全てを知ったとき、たわいもない出来事の一つ一つが恐怖に変わる。